

平成30年度予算見積調書

課室名： 高校教育指導課

担当名： 学びの改革担当

内線： 6625

(単位：千円)

番号	事業名			会計	款	項	目	説明事業	
B31	「教育の情報化」基盤整備費			一般会計	教育費	高等学校費	教育振興費	情報教育推進費	
事業期間	平成13年度～	根拠法令	地方教育行政の組織及び運営に関する法律			宣言項目	06	次代を担う人財育成	
					分野施策	030622	質の高い学校教育の推進		
1 事業の概要			5 事業説明						
県立学校間ネットワーク、校内LAN、校務支援システム、教員用コンピュータ等の「教育の情報化」に係る基盤を整備する。 (1) 校務支援システム管理運営費 29,967千円 (2) 校内用コンピュータ管理運営費 137,903千円 (3) 教員用コンピュータ管理運営費 184,985千円 (4) 生徒用コンピュータ管理運営費 529,261千円 (5) 教育情報ネットワーク管理運営費 322,447千円 (6) 次期学習指導要領に対応したICT環境整備事業 312,801千円			(1) 事業内容 ア 校務支援システム管理運営費 29,967千円 イ 校内用コンピュータ管理運営費 137,903千円 ウ 教員用コンピュータ管理運営費 184,985千円 エ 生徒用コンピュータ管理運営費 529,261千円 オ 教育情報ネットワーク管理運営費 322,447千円 カ 次期学習指導要領に対応したICT環境整備事業 312,801千円 (2) 事業計画 ア 校務支援システムを利用することで校務の効率化を図る。 イ HR、図書館、進路指導室等の共用PCを整備する。 ウ 成績処理、教材作成のための教員用PCを整備する。 エ 授業で使用するコンピュータ教室用機器を整備する。 オ 学校間ネットワーク・校内LAN・ファイルサーバ等を管理運営する。 また、機器の老朽化により保守ができないため、更新する。 カ タブレット端末やプロジェクターなど次期学習指導要領に対応した環境を整備する。 (3) 事業効果 ア 教員が生徒と向き合う時間を増加させる。 イ 生徒の興味・関心を高め、わかる授業が展開できる。 ウ 成績処理や教材作成が効率化できる。 エ 学習指導要領に定められた情報教育を行うことができる。 オ 円滑なネットワークの運営や総合的なセキュリティ対策が行える。 最新のセキュリティ対策の導入や機器管理の効率化が行える。 カ 生徒個々の主体的・対話的で深い学びを支援する。 (4) その他 【前年度からの変更点】 カ 県立学校間ネットワークの更新に伴う増額 キ タブレット端末やプロジェクターなどの整備に伴う新規事業						
2 事業主体及び負担区分									
(1)～(6) (県10/10)									
3 地方財政措置の状況									
地方交付税(単位費用) (区分) 高等学校費(細目) 生徒経費 (細節) 生徒経費 (積算内容) 教育用コンピュータ等									
4 事業費に係る人件費、組織の新設、改廃及び増員									
9,500千円×3.4人=32,300千円									
予算額			財源内訳					一般財源	前年との対比
決定額	1,517,364							1,517,364	403,883
前年額	1,113,481							1,113,481	